

感染症発生動向調査情報(週報)

2013年01週(12月31日～01月06日)

○ 山梨県内流行情報

感染性胃腸炎は、一時的に患者数が減少しましたが、休みが明けて保育園や学校、会社など社会活動が始まると患者が再び増加することが予想されますので、引き続き、手洗いうがいを心がけましょう。

○ 富士・東部管内流行情報

インフルエンザの報告数が増加してきています。今後流行が拡大するおそれがあるため、室内の換気等を心がけ、石けんによるこまめな手洗い、外出後のうがいの励行等はインフルエンザにも有効です。また、発症(疑い)時にはマスクをすることも人への感染予防に効果があります。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	18652	3.91	1725	0.57	531	0.18	1587	0.53	13133	4.36	5047	1.68
山梨県	187	4.68	6	0.25	3	0.13	16	0.67	172	7.17	16	0.67
中北	95	7.31	5	0.63	1	0.13	3	0.38	88	11	3	0.38
中北峡北	27	3.38	-	-	-	-	5	1	25	5	3	0.6
峡東	24	3.43	-	-	-	-	1	0.25	23	5.75	3	0.75
峡南	13	4.33	-	-	-	-	-	-	7	3.5	-	-
富士・東部	28	3.11	1	0.2	2	0.4	7	1.4	29	5.8	7	1.4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	379	0.13	63	0.02	574	0.19	10	0	36	0.01	580	0.19
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	-	-	-	-	1	0.04
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	7	0.01	233	0.36	8	0.02	8	0.02	243	0.52	5	0.01
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	-	-	1	0.1	-	-
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	1		52		51		50	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	4.68	187	4.43	177	4.5	180	3.08	123
RSウイルス感染症	減少しています	平年並みです	0.25	6	0.38	9	0.46	11	0.58	14
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.13	3	0.29	7	0.25	6
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	平年並みです	0.67	16	1.25	30	1.92	46	1.42	34
感染性胃腸炎	減少しています	平年並みです	7.17	172	15.88	381	20.83	500	23.29	559
水痘	減少しています	平年並みです	0.67	16	1.38	33	0.58	14	1.46	35
手足口病	—	—	—	—	0.08	2	0.17	4	0.25	6
伝染性紅斑	—	—	—	—	0	0	0.04	1	0	0
突発性発疹	やや減少しています	平年より少ない発生数です	0.04	1	0.17	4	0.25	6	0.25	6
百日咳	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0	0	0.08	2	0.08	2
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.33	3	0.22	2	0.56	5	0.33	3
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	0.1	1	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	減少しています	平年並みです	0.1	1	0.4	4	0.2	2	0.7	7
クラミジア肺炎	—	—	—	—	0.2	2	0.1	1	0.2	2

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	75